SSKU

潮騷通信

潮騒ジョブトレーニングセンター

Drugs and Alcohol Addiction Rehabilitation Center

一部 100円

どっこい生きてます!



8周年フォーラムのサプライズで

1998年10月9日第三郵便物認可(毎月3回8の日発行)2013年11月21日発行 SSKU 増刊通巻、第4663号

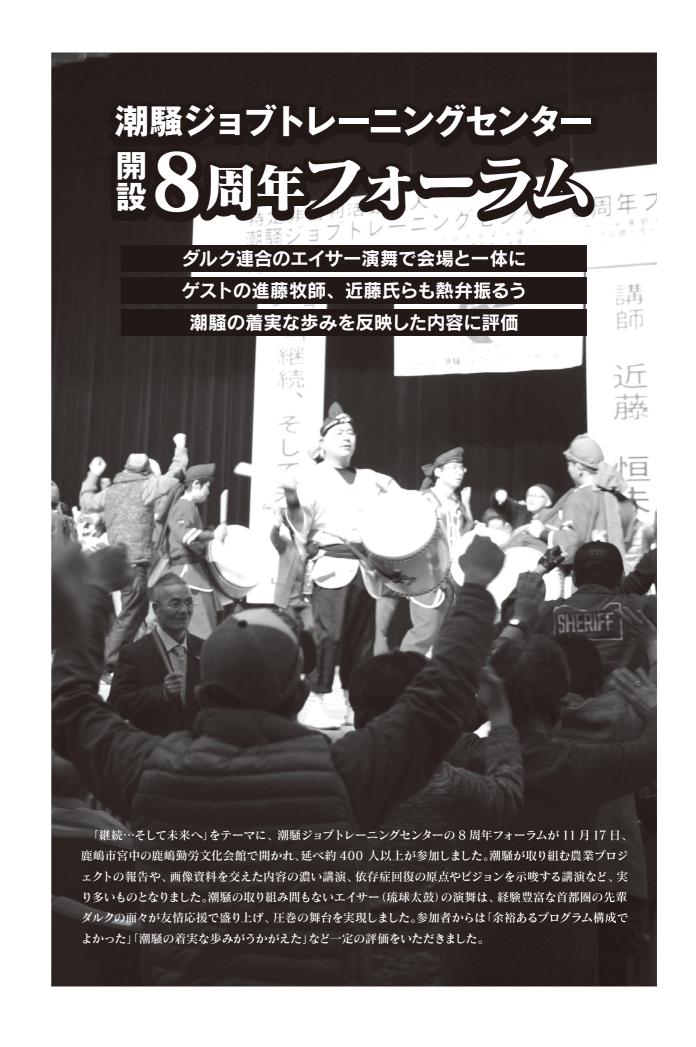
家族について思う

11月17日の潮騒JTC8周年フォーラム。プログラム最後の謝辞の前に、サプライズがありました。 私の息子2人と、私をダルクにつなげてくれたNAメンバーの姪が、私のクリーン10年を祝って 花束を贈ってくれたのです。柄にもなく目がうるんでしまいました。かつて任侠道で鍛えられ、「意志と 根性は誰にも負けない」「人前で涙を見せるのは男の恥」と公言してきた私ですが、最近は涙もろく なりました。日本ダルクの近藤恒夫さんはよく、「赤ちゃんのように泣こう。そうすれば願いが叶う」と "泣く"ことを勧めます。あの場面で感極まって泣けたことは、私が人並みに人間的感情を取り戻した 証拠でもあり、私の回復レベルを象徴するものなのかもしれません。

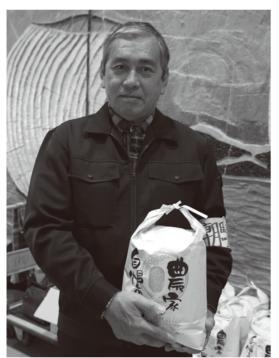
実は、私には新旧2つの家族がいます。私が失敗した旧い家族はヤクザ人生とヤク中・アル中地獄に陥って家族機能を崩壊させ、最後は見限られた家族です。この旧い家族には埋め合わせのできない罪深い思いが消えません。私自身がこれからも死ぬまで回復の道を歩み続け、一人でも多くの仲間たちを回復へと導く手助けをする姿を、辛抱強く見守ってもらうしかありません。一方、今の家族は私が回復の道を歩み始めて偶然にも、もたらされた家族です。当然、花束をくれた2人の息子たちとは血のつながりはありませんが、深い確執を乗り越え、新たな家族となりました。彼らには少しだけクリーン期間の長い、先行く仲間として、私の背中を見てほしいと思います。

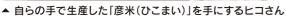
依存症者にとって、家族との付き合い方はとても難しいものがあります。私は「依存症の人たちは 回復の過程においては、家族のことを考えない方がいい」と思います。真正面から家族のことを考え るのではなく、とりあえずは意識の横に置いておくべきだと考えています。私たちは、回復の道を歩む 中で自分のいろんな棚卸、埋め合わせをしていきますが、家族への贖罪意識が先にたち「家族の ために」頑張ろうと、つい無理をしてしまいます。でも依存症は「家族のために」回復できるほど、 簡単な病気ではありません。逆に「家族のために」がプレッシャーとなり、スリップの要因にもなり ます。回復途上の依存症者にとって、家族は「スリップのわな」となる難しい側面をもっています。

私たち依存症者はあくまで「自分自身のために」回復を目指す存在でなければなりません。私たちにとって家族は血の繋がりがあろうとなかろうと、「魂の家族」なのです。ここには強い「きずな」があり、「許し」と「救い」、「癒し」と「感謝」があります。私は今年、古希を迎えました。ダルクでは近藤さんに続く年長者です。でも、クリーンはやっと10年、10歳の子どもに過ぎません。今後もこの鹿嶋の地において仲間の回復を手助けしながら、「魂の家族」を大事にしていきます。 (施設長 栗原 豊)



開設8周年ブオーラム







▲ 今年話題となった青パパイヤ



▲ 猿田農場で取れ た大根はたくあ ん漬けが最高!



■三重ダルクの市川岳仁施設長が 「東紀州プロジェクト」を紹介

今回のフォーラムは、これまで会場確保が難しかった鹿嶋市内中心部における初めての開催で、会場の定員規模が大きく、一般参加者の確保が課題となりました。事前 PR に力を入れましたが、観客動員力では潮騒の力量を改めて自覚させられました。それでも内容面では充実したものとなり、栗原豊施設長のクリーン 10 年を祝う意味合いを込め、カラフルな衣装が織り成すダルクの特徴あるエイサー演舞で、これまでにない盛り上がりとなりました。

プログラムは、午前中の「潮騒ファイザープロジェクトフォーラム」の部で、現在取り組んでいる潮騒ファイザープロジェクト報告が行われ、リー



= 重ダルクの市川兵仁施設長 ▲

ダーのヒトシさんから青パパイヤ栽培など 2 年間に及ぶ農業プロジェクトの活動その成果と課題などが示されました。

三重ダルクの市川岳仁施設長からは、現在取り組んでいる「東紀州プロジェクト」が紹介され、みかん畑での軽作業や弁当店の運営などが説明されました。市川施設長は「助けてもらうだけでなく『自分も助ける』。 『自分が役に立つ』という感覚が依存症者の自立と就労には大事」と、依存症者の就労支援の意義を強調。 無理して社会の基準に合わせることやダルクの中に"障害者枠"を作る動きに警鐘を鳴らし、「依存症の括りにこだわらない発想の柔軟さを」と広い視野での対応を求めました。

体験発表に立ったユウさんは、約15年にわたって薬物を使い続けながら仕事をしてきた過去を述べ「シラフで仕事を続ける自信が無かった。だから薬物を使った」と振り返り、潮騒農業自然隊メンバーに参加しての2年間について「やりがいを持って取り組んでいる」と前向きの姿勢を見せました。



■進藤牧師が熱のこもった講演で 「やり直しの人生」を力説

午後の「潮騒 JTC8 周年フォーラム」では、冒頭に「潮騒の仲間たち」と題したスライドを上映、日々の様子が紹介されました。続くエイサーの舞台では、潮騒の他に川崎、市原、千葉、藤岡、相模原の 6 ダルクが合同で約 40 人がステージに上がり、エイサー演舞を披露。各ダルクでは回復活動としてエイサーが定着していますが、この日は「ダルク連合」による珍しいエイサーの演舞で会場と一体のステージを実現。参加者もかつてない勢いと迫力に圧倒された様子で、感動のステージとなりました。

ゲストスピーカーの進藤龍也牧師は身振りを交えながらの熱い講演 で聴衆を引き付け、「本物の敗北って『倒れたままでいいや』と思うこと。



连膝牧師 4

人はいつでもどこでもやり直せる」と述べました。来場者との質疑応答で進藤牧師は「現代病は『自分を愛せない』こと。罪を犯したからこそ神のところに行かなければならない。自分自身が愛せないから、他人も愛せない」と答えました。

体験発表では、潮騒 JTC 入寮者のキクさん、同じく入寮者で栗原施設長とは約 40 年のつきあいがある テイさん、入寮者のサユリさんの話がありました。

横浜ダルクの坪倉洋一さんは、後発の潮騒が孤立とハンディを負った中で歩みを続けたことが、狭い感情 対立や反発を乗り越え、より包括的で高い回復のポジションに立てている、と評価を加えてくれました。

日本ダルク代表の近藤恒夫さんは「自分のため、ダルクのため、だけではなく、国のため、社会のため、広い 視点で依存症の回復を支援しよう」と訴え、命のリレーを原点に据えてより高い回復のステージに向けたビジョンを示しました。

開設8周年7分一ラム

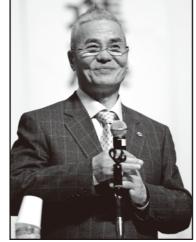


子どもたちや姪から花束を贈呈され、感謝の言葉をもらう栗原施設長夫妻へ

■「世界一かわいい娘たちのためでも やめられなかった」と栗原施設長

終盤には"サプライズ演出"として栗原施設長夫妻の子供でありながら、潮騒で依存症からの回復を目指す仲間でもある、スタッフのヒトシさん、マコトさん、それに栗原施設長をダルクにつなげた NA メンバーで姪のロバさんから、栗原夫妻に花束贈呈の一幕がありました。

栗原施設長は謝辞で「こんなヤクザで、しかもアル中でポン中だった 人間が、感謝される立場に立てるなんで…、涙が出ます」「今では2人の息 子に感謝されています。息子を救うことができた」と感慨深く述べました。 一方で、過去に崩壊させた家族にも想いを馳せ、実子である2人の娘との 苦い過去に触れ、「世界一かわいい娘たちのためでも覚醒剤はやめられ なかった」「だから依存症は愛情では治せない。『愛情で治す』はかえって 依存症を悪化させてしまう」と訴えました。その上で「私の中には依存症と いう悪魔が棲んでいる。このサタンに負けないようクリーンを保っていき たい」と、クリーン 10 年の節目に決意を新たにしました。



クリーン 10 年の節目に ▲ 決意を新たにする栗原豊施設長

茨城新聞にフォーラム記事が掲載されました。

フォーラムの翌日(11月18日)には後援団体の茨城新聞紙面に8周年フォーラム記事が掲載されました(第3社会面)。また、事前の告知記事が茨城新聞や毎日新聞など一般紙や常陽リビングなど各フリーペーパーにも掲載されました。各メディアのご協力に感謝します。



今月の イベント参加報告



鹿嶋市民に初披露▶ された青パパイヤ

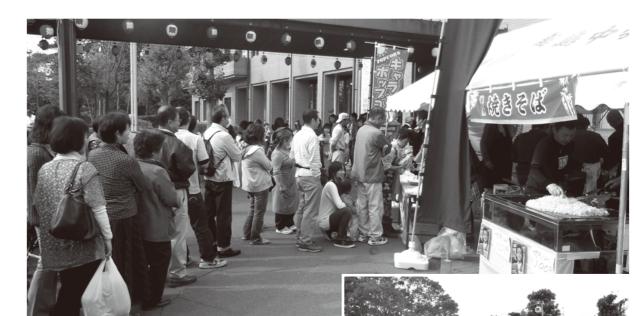
て一ら祭で青パパイヤ初披露

潮騒エイサーをお披露目、ステージ発表も

第7回「て一ら祭」が11月2・3日の両日、鹿嶋市宮中のまちづくり市民センターで開かれ、潮騒ジョブトレーニングセンターの仲間たちが出店しました。露店では、今年初めて潮騒農場で栽培に取り組んだ青パパイヤを見本展示し、来場した市民らが珍しそうに見入っていました。また、ニンジン、サツマイモ、ピーマンも販売、野菜を購入した人にはトウガンをサービスするなど"出血大サービ

ス"で注目を集めました。

焼きそばコーナーでは「1パック100円」という 破格値で販売し、一時は行列ができました。メーン で担当したあーちゃんは「お客さんの反応が良く、 列が並ぶくらい。(焼きそばを) 作りつぱなしで疲れた」と満足そうでした。2日午後のステージ発表では潮騒のバンドメンバーがバンド演奏を披露して、 場内が盛り上がりました。これとは別に「潮騒エイサーチーム」がエイサーの演舞を披露しました。今年8月から練習しての初披露でしたが、集まった観客からは惜しみない拍手をいただきました。(サッキー)



▲ 地域の皆さんに恩返しを、と販売した100円焼きそばに長い行列が



エイサーを披露する ▶ 鹿嶋琉球太鼓隊

◆焼きそばを調理する あーちゃん

3

7

こんなイベントに 参加しました、 : というご報告。

民生委員定例会で 潮騒 JTCの活動説明

鹿嶋市平井の鹿嶋市役所で11月8日、市内の 民生委員が集まった「平成25年度さざなみ地区 民児協11月定例会」があり、栗原豊施設長が講師 として招かれました。席上、栗原施設長やスタッフ らが、潮騒JTCの活動について約30人の民生委 員に向けて説明しました。

前半で潮騒 JTC を紹介した TBS テレビ「報道特集」のビデオを放映し、パワーポイントで潮騒 JTC が取り組むファイザープロジェクトを解説、後半で栗原施設長が説明しました。その後、民生委員から活発に質問があり、薬物・アルコール・ギャンブル依存症への地域理解を深める、地道な啓蒙・啓発活動の必要性を実感させられました。

民生委員の中には従来からの「薬物・アルコール依存症者は危険な存在」という固定観念を引きづっている人も多く、潮騒 JTC の活動に新鮮な印象を得ている様子でした。どうやら偏見が独り歩きしている点や、依存症に関する知識が十分に知られていない現状があるようです。

栗原施設長は最後に、現在の心境について「天 高し 自分の過去を さらけ出し」と、俳句で答え ました。(サッキー)



▲ 民生委員からの質問に答える栗原豊施設長(写真中央) = 鹿嶋市平井の鹿嶋市役所

秋季イベントに参加した仲間たちの感想

また「アーチャン焼きそば」が焼けるとは…

潮騒JTCは、11月の秋季イベントで焼きそばを格安で提供し、参加者に喜ばれました。第7回「て~ら祭」では2日間で1200食を、「鹿嶋まつり2013」は1日で1160食を手作り、販売しました。曇りがちの天気にもかかわらず多くの人出があり、両日とも用意した分を完売しました。去年は1人でもできましたが、今年は数多くの仲間の力によって助けられました。仲間のテイさんもいて心強かったです。今年もまた「アーチャン焼きそば」が焼けるとは思っていなかった。これも自分にとって、回復の一つだと思っています。また来年も回復のプログラムとミーティングをしながら、焼きそばにチャレンジしたいです。(アーチャン)

エイサーの練習をしてきた成果が実る

鹿嶋市まちづくり市民センターで開かれた第7回「てーら祭」(11月2、3日)が無事、終わりました。当日、大勢のお客様の前で古代から伝わる沖縄のエイサー(琉球太鼓)の演目を初披露することになり、とても緊張しました。なんとか形になり、今はホッとした気持ちと満足感でいっぱいです。施設の方針で急きよエイサーに取り組むことになり、短期間だったけれど人ー倍練習をしてきた成果が実りました。お客様、仲間の喜ぶ顔を見て、やって良かったと正直に思う今の私です。(リョフ)

今年は「てーら祭」でのバンド演奏に自信

私は去年の「て~ら祭」で初めてバンド演奏に参加しました。今年が2度目のステージで、楽器ごとのポジションではギターを担当したので週に一度は必ずバンドの練習に参加しました。そのためか当日になっても精神的なプレッシャーはほとんど感じませんでした。

開催日の前夜に機材搬入をして、その流れでリハーサルをやったのだけれど、この時には本番でもないのに妙に緊張してしまいました。こうして前日のリハーサルを何とか切り抜け、当日になったのですが、去年のて一ら祭よりも観客の方々が多かったようでしたが、練習の成果が発揮できました。計2曲を演奏したのですが、ドラムの仲間、ベースの仲間、ベースの仲間、ヴォーカルの仲間と3人がとっても上手になっていました(特に上手だったのはベース担当の仲間でした)。僕も上手にできたんではないか、と思っています。できることならまた来年も、て一ら祭でバンド演奏をやりたいです。(イチ)

近藤恒夫氏インタビュー Vol.19

28年やってもダルクを支える側に回る人材が生まれなかった

●みんなダルクのスタッフになっちゃってる

近藤 まあ、ダルクの人たちがいろんな社会資源に助けられている。それは仕方のないことだ。僕らだって資本主義のこの国で生きているんだから。それは宿命的なことだよ。何をするにもタダではできない。ボランティア活動 1 つとっても、人が動くためにはいろんな経費、カネがかかる。田舎のダルクなんかミーティング行くのも大変だよ。「足」がないからどうしても車で移動する。高いガソリン代でどこも悲鳴をあげている。

一 夜の自助グループに行くのも大変ですよ。以前に 比べ、ミーティングへの移送費だって削られているよう ですから。ましてや各地のフォーラム参加は大変です。

近藤 そこで、私たちが外でいろいろな活動をして 得た報酬をもっと運営費に当てていけば、今までその、 ダルクを何人が通過して巣立ったのか分からないけ ど、まだまだ世間の荒波の中で依存症に苦しんでいる 仲間をもっと助けられることにつながる、ってわけだ。

そういう形で、本来なら外側からダルクを支えられるような人がたくさん出てきてくれるのが僕が考えたダルクの将来ビジョンの一つだった。それが、みんなダルクのスタッフになっちゃってる。それはおかしいんだよ。ダルクのスタッフは、社会復帰できない人がスタッフになるべきだよ。小指なかったり、親指なかったり、刺青していたり…。

そういう人がスタッフをやればいいんだ。何が何でもダルクにへばりついて、ダルクに給料をもらって、っていうんじゃなくてさ。だってダルクでももらえる給料なんて大したことないだろう。福利厚生だって整っていないし、年金もつかない。僕なんか 28 年やって年金つかないんだから。だったら自分たちが外で稼いで、ダルクを支える側にまわっていく。そうい

う輩が出てこないのが大きな誤算だったかな。

●日本は税金が控除される仕組みになっていない

ー どうして、そうした人材が出てこないのでしょうか。欧米なんかと比べると、宗教的な土壌や雰囲気の違いなんですか? 自分の余力をボランティア活動に捧げられないというのは…。

近藤 欧米では子供の頃から教会に通っていろんな奉仕活動をすることが皮膚感覚で染み付いているってことはあると思う。むしろ欧米では、システムとしてボランティアしやすい制度が整っている。それやったら、ちゃんと税金が控除される仕組みになっているから、みんなやるんだよ。日本はその仕組みはないからね。

NPOとかいっても、そりゃ世間体や外面はいいかもしれないけど、結局は税金とられるようになっている。NPOじゃなくても会社なら50%近く、半分切れるくらいは国に取られる。医療法人で30何%かでしょう? でNPOは公益性のあるものだから、やはり美しくいきなければならないと。そうじゃないんだな。僕が考えていたダルクは。それが唯一、ダルクの仕組みの失敗というか、見込み違いだった。

だから、もうちょっと自由度のあるダルクにすれば対社 会との関係においてもスタッフが孤立しないで、もう少し 社会と連携が取れて柔軟に動けたり、もっと社会をグロー バルに見ることができたりするんじゃないのかな。

もしダルクに税制面で優遇措置が整備されていれば、才覚がある人は商売をやって、その利益を還元する仕組みもできるだろうし、積極的に自分たちで工場みたいのを作ったりもできる。でも、ダルクにはそれがない。そこをうまく突破できれば、外側からダルクを支える側はスタッフも支えていくことになる。そうなれば、もうちょっと世間に信用される気がするんだな。(次号に続く)

受刑者からの手紙

「しおさい俳壇」とともに潮騒通信を特徴づけるのが、この「受刑者の手紙」です。外部とのコミュニケーションに渇望している皆さんの生の声はとても貴重です。手紙は全て目を通していますが、ほんの一部しか掲載できないのが悩みです。

4度目にして2年10カ月の刑期、犯した罪の重さを実感

私は現在、覚醒剤事件を起こし受刑生活を送っております。昨年仮出所から、わずか半年後の12月に覚醒剤に手を出し、精神病院への行政措置入院を経て、逮捕に至りました。

私は今年で33歳になりましたが、この歳でお恥ずかしい事に今回で4度目の受刑生活を送ってしまう事になりました。今回手紙を書かせて頂いたのは、以前私の公判の際、弁護士に相談したところ色々な施設の中にSJTCの名前を見つけ、手紙を出すこととなりました。

私は元々(潮騒のある鹿嶋市に近い千葉県)銚子市の 人間なのでSJTCはどんな所なのか、とても気になりま した。これまでに数件のダルク宛に手紙を書きました が、あまり詳しい返事は頂けず、興味があれば出所後に 連絡をくださいとのことで、ダルク自体良く分かっておら ず、どんな活動を行っていて、どんな支援を受けられる のかわからずじまいです。そこでSJTCの事が気にかか り、どんな活動をしてダルクとどう違うのか、薬物依存症 から立ち直るためにはまずどうしたらよいのか、など詳し いことを教えていただけたらと思い手紙を書きました。

今、私は自分の人生についてとても悩んでおります。 刑務所に入るたびに色々なことを考えます。交友関係を 改善するために地元を離れ、色々な所を転々とするよう になり、気づくとまた薬に手を染めてしまい、同じような 生活を繰り返してしまいます。大切な友人や人をたくさ ん失ってきました。その度に淋(さび)し思い、己の情なさが身に沁み後悔ばかりしています。

裁判官から私は薬物依存症だと指摘され、それから本当に悩むようになりました。何度も堀の中に入ってとうとう4度目になり、自分自身がどうしようもない人間に思えてきました。この生活に慣れていく自分が、本当に嫌になってきます。正直、こんな生活は最後にしたいです。毎度そう思いながら出所するのですが、結局戻ってきてしまいます。

4度目にして刑期が2年10カ月と大変重い結果となり、それほど私の犯した罪が重いものであると実感しました。これ以上人生を無駄にしたくありません。薬に溺れる人生を歩みたくありません。ですが、それを繰り返してしまった私に自信がもてないのが正直なところです。

今回は北海道内の更生保護施設の方に引受が決まりました。ですが、その後の進むべき道がまだ定まっていないのが実情です。このまま何も分からないまま出所しても同じことの繰り返しのような気がしてなりません。何か今までと違った行動を起こさなければ、と強く感じております。今回の刑務所生活を最後にしたいと強く思っております。何か資料のようなものがありましたら送って下さい。色々相談に乗っていただけたら嬉しく思います。

(北海道 S·T)

仮釈があろうが満期であろうが潮騒に行きたい

出紙が届きました。ありがとうごさいます。本当に世の中、何が起こるか分かりませんし、自分の思うようにならないものだと、しみじみ思いました。でも、これだけは分かっておいてください。私は仮釈があろうが満期で

あろうが、そちら潮騒ジョブに行く事は変わりませんし、世話になることは絶対に変わりません。行ったときはよろしくお願いします。

(広島県 N·K)

潮騒の皆さんの奮闘を励みに再犯をしないぞと誓う

騒通信をありがとうございます。とても楽しく読ませてもらってます。今月はエイサーの練習や農場でのサツマイモ収穫の記事などが目に止まりました。皆さん、個人的に問題を抱えながらも互いに力を合わせて頑張っている姿が目に浮かびます。私も皆様の奮闘を励みに社会で出たら自立し、再犯をしないぞ、との誓いを

立てています。そして施設で頑張れるよう今、刑務内で出来ることはないか、日々考えて行動しています。11月には公費の簿記3級試験がありますが、4カ月の通信教育を終え頑張っている最中です。施設長も毎日大変だと思いますが、どうぞお体をご自愛ください。

(青森県 K·M)

まだ仮釈の望みはあるかなと心密かに思っている

今回の手紙では色々とご報告することがあります。と言ってももう悪い事ではありません。まずは今月念願の 3 類にやっとなることができました。ですが、本来ならもうとっくに出所しているので気持ちは複雑です。でも初集会で食べた 500 円分のお菓子は涙がでるほど美味しかったです。

その後、水引作業の班の副班長となりました。責任ある立場となりましたので班長を助け、少しでも工場の役に立てるように頑張りたいと思います。さて、いよいよ就労支援教育に出るようにと言われました。この種の教育は大体、仮釈で出る人を対象にして行われると思っていたので、名前を呼ばれた時はビックリしました。

もしかしてまだ仮釈の望みはあるのかなあ、なんで心密かに思ってますけど、仮釈でも満期でも一生懸命に頑張ってつとめ、1日も早く社会復帰を目指したいと思っています。先頃は10年に1度という大型台風が関東地方を襲ったようですが、鹿嶋は大丈夫でしたか。北海道では温帯低気圧と名前は変わりましたが、驚いたことに当地は雪が降り、10 撃ほど積り、工場もストーブがつきました。これからは1日1日と寒くなっていくと思いますので身体にだけは十分に気を付けてお過ごしください。潮騒通信、毎月楽しみして読ませていただいています。

(北海道 Y·K)

淋しさゆえのスリップで またもや天国の母を裏切った

潮騒通信を送って頂き、誠に感謝しております。毎月楽し みにして読ませていただいています。潮騒通信に私の文章が 載っていたことには大変驚きました。

私は今回逮捕される前までは市役所から生活保護を受け 一人暮らしをしていました。母が 88 歳で亡くなり、始めての 一人暮らしで、母はよく働き、家の中の事や私にも色々な意味 で良くしてくれました。そんな私が天国の母に対してまたも裏 切ってしまった訳は、淋しさゆえのクスリの使用だったので す。でも実際は、単に自分自身の甘えに過ぎなかったのだと 深く反省しております。今後は 2 度とスリップしないよう強い 意志と皆様の応援に応えるべく、クリーンを続けたいと心に 強く誓うものです。

私は34歳の時に初めて刑務所に入り、3年の刑期でしたが、10カ月もの仮釈をもらいました。それから約10年クリーンが続き、もうこれで覚醒剤とはキッパリと縁が切れたと思っていましたが、ちょっとした事で落とし穴にはまってしまいました。場外馬券場に行ったときに、明らかに見てすぐ分かるような女性に声をかけてしまったのが、始まりだったのです。44歳の時でした。

当時付き合っていた女性に、3 度も許してもらっていたのですが、4 度目はありませんでした。本当はその彼女を幸せにするのは私だと思っていましたが、クスリの件で別れることになったのです。その後、私は2度目の受刑生活を余儀なくされ、母からの手紙でその彼女が結婚したという事を聞き、泣きました。全部クスリのせいだったのです。もう、こんなつらい思いは2 度としたくないのでクスリをやめる決心がつきました。こんな私ですが、またいつクスリがしたくなるのか分からないので、ぜひ潮騒ジョブにお世話になりたいと思いました。今後とも宜しくお願い致します。

(東京都 S·K)

おさい

10月のお題

虫の声

寝つかれ

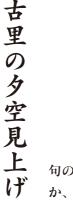
耳を澄ませば虫

0



人は何か思い悩む時や疲れ過ぎても寝れない、秋の夜も更けて寝つかれずにいる部屋で耳を澄ますと虫の声が聞こえる、都会なら騒音で喧(かまびす)しいが、田舎ならではの詠で一抹の淋しさを宿す句。

さゆり



虫

ことになったのです。(次号につづく)

私、栗原豊と五·七·五(短詩)の出合いは、何度目 かの薬物事犯で逮捕され、宇都宮拘置所に拘留され

ている時でした。そこでは読売新聞「よみうり時事 川柳」投稿欄に目を通すのが日課で、何よりの楽し

みでした。あろうことか、そこに素人の私が投句し

たのです。当時、中曽根康弘首相が三選され、ワンマ

ン振りを発揮していた様子を、"監督で投手で四番首

相言い?"と詠んだ句でした。これが思いがけず入

選し、以後病みつきになりました。因みに賞金は

500円でしたが、この体験で私には文芸の才能があ

る? との錯覚に陥り、短詩づくりの道へと邁進する



旬の作者の古里は何処だろうか、山国か、海辺か、川のある町か何れにしても都会ではなかろう。時折に里へ帰ると山も海も川も懐かしい、夕空を眺めながら虫の声を聞く一時。少しの淋しさと、誰もが持つ故郷への哀憐の句です。

受刑者の句

いわし雲空一枚を画布とせる (北海道 章三郎)

鰯雲は鱗雲鯖雲とも云い秋の代表的な雲の形でもある、微風の晴れた平野や浦の空に広がり暫くは時間も 止まる思いがする。空を一枚の画布と云うのも鰯雲の表現に叶い大景の句です。

満月を入れて巨きな獄窓(まど)となす (北海道 章三郎)

月は四季に見れるが俳句での満月は秋の十五夜を云う、その月も海に山に川にと処により景も趣きも異なる。また獄窓と云えば鉄格子の小窓を想像しますが、満月に巨きな窓として眺める、俳諧の哀れを込めた切々たる句。

今月の秀逸句

嵐過ぐ今日の夕空虫の声

原句は季語が三つありますので虫の声に焦点を絞りました。今年は台風が多く来ますが過ぎた後は晴れて涼しく夕方には虫の声が聞こえ秋を思い、台風後の安らぎの句になります。

畑仕事戻る小道の虫の声

7

秋の暮れは思いのほか早く畑仕事を終えての道の夕暮れに虫の声が聞こえる、この鹿島潮来の町外れではまだ多くの畑がありこの詠の光景も故郷の田畑を偲んで懐かしい句です。

青森の鈴虫列車夕間暮れ 長 吉

鈴虫列車は二十余年前駅員の努力で津軽鉄道の五所 川原、中里駅間を今でも九月から十月に運行される。 車内の虫籠に鳴く鈴虫を聞きながらの旅は格別の風 情がある、一度乗りたいと思う句です。

秀逸句

鈴虫に山の更けゆく音色かな ユタカ

鈴虫はリーンリーンと鳴き聞き入ると少しづつ鳴く 力を籠めて入る様にも聞える。私にも、「鈴虫の鈴ふる 力うち重ね」があり懐かしいが、音色を聞いていると 山も更けていく思いがする。静かな思いの句です。

そのほかの句

リーンリーン虫達の声夕べかな イチ 山小屋の床の下なる虫の声 カッチャン 深々と山の更けゆく虫の声 エン 夜深し競ひて高音虫の声 オノ 道々の草むら深し虫の声 ヒロ 今日よりは夏も終りや虫の声 しま 虫の声家で泣くのは子供かな キコ 都会では聞ゆるだろか虫の声 ジュリー 恋焦がる届けよ君に虫の声 無名

施設長の旅の句

ユタカ

ーの手網労ふ大漁丼

最近では毛糸を編む娘さんの姿も見掛けないが、昔は電車やバスの中でも学生や娘さんが編んでいたし、歌謡も懐かしい。その手網のセーターの労(ねぎら)いに大漁丼をご馳走したのだ。微笑ましい詠で若い頃を偲ぶ句でもあります。

鬼太郎の

ユタカ

の米子に来たり蜆汁

ゲゲゲの鬼太郎の作者水木 しげるの故郷は境港市なの で、観光を含めてしげるロー ド、会館などがある、また近く の宍道湖は蜆が名産。その 米子に来て鬼太郎に会い蜆 汁をご馳走になったのか、私 の郷の島根県にも近く懐かし い句です。

12



依存症のサカです



潮騒ジョブトレに来て本当に良かった!

栗原施設長は「逃げてばかりの人生より同じところで一からやり直せよ」と私を諭しました。この言葉の重みと、そこまで自分を信じてや り直しの人生を促してくれる幸せを、潮騒でしみじみと噛みしめました。今の自分は、自分の頭で結論を出すのをやめ、先行く仲間の頭を借 りてアドバイスを受けることで、曲がりなりにもクリーンを続けられているような気がします。

今まで、自分の持つ器が一杯一杯になったら逃避していた自分が、逃げずに真っ向から前向きに苦しさを受けとめるようになれたので す。そして今与えられて、以前とは逆の立場(スタッフ)になる修行をすることで、成長とまでは行かないかもしれないけど少しずつ回復途上 にあるように思えます。

私の「ダルクツアー」体験はやっと潮騒JTCに漂着したことで終わりを告げ、「今日一日」の教えに従って腰を落ち着けて回復プログラム に取り組めています。でも、分かりませんよ。近藤さんが言うように「過去はヒストリー、水に流そう」「未来はミステリー、誰にも先は分から ない」、でも「現在はギフト。等しく与えられた時間を今日一日の精神で有意義に生きよう」ですね。私に限って言うなら、ダルクツアーはとり あえず回復の試練としていい結果をもたらしてくれています。

まとまりのない文章になりましたが、ここら辺で私の回復体験記を終わりにします。最後までお付き合い頂きありがとうございます。また いつ追いつめられてスリップするかもわかりませんが、良い仲間と良きスポンサー(栗原施設長)がいる限り、回復できると信じています。 最後にこれだけは言えます。潮騒ジョブトレに来て本当に良かった。(了)

11月のバースデイ



49歳努力。



歳はとりたくない。



44歳になりました。



ハンペン

早く社会に戻ろうと思うけど。

ゆっくりやろう。



自分の誕生日、何歳だか分からないです。



素面の生活、最高。。



これからもがんばっていきます。

(11) の行事予定

18 日 新宿とまりぎアルコール問題相談業務

23 日 第3回 [RDディケアセンター] セミナー

潮騒誕生会 25日

28日 潮騒俳句会

(**12)** の行事予定

1日 千葉菜の花家族会 第1回フォーラム

8 · 21日 秋元病院メッセージ

> 第2回潮騒ファイザープロジェクト推進委員会 11日

ファイザープログラム贈呈式(継続認定の場合) 13 日

東北被災地エイサー慰問(宮城県七ヶ浜町) 14~15 ⊟

20日 第19回潮騒プロジェクト会議(今年最終回)

編集後記

今年のフォーラムは収穫の多いものになりました。ともすると動員 力で評価しがちですが、問題は中味でです。市川岳仁三重ダルク施 設長は障害者観の「常識」変革を促し、進藤龍也牧師はイエス・キリ ストや神に生かされていることの喜びを語り、心の平安を希求する ことの重要性を説きました。日本ダルクの近藤恒夫さんは私的利害 を超えた回復のビジョンを指し示し、横浜ダルクの坪倉洋一施設長 は孤立や差別を包含するダルクの底力を潮騒に見る、と評価してく れました。我が栗原施設長は「世界で一番可愛い娘のため」でも依 存症の病魔を断ち切ることができなかった、と告白しました。準備 は大変でしたが、疲れが癒された8周年フォーラムでした。(市)

献金を頂いた方(フォーラム献金を含む)

·大島恵美子様

横浜ダルク様

·土屋幸枝様

川崎ダルク様

·岡本紳次郎様

・千葉ダルク様 相模原ダルク様

・君津リカバリーファーム様

・勝間春江様 富井建夫様

(千葉菜の花家族会)

坂西ミヤ様

· 茨城県更正保護女性会様(古河支部)

· 茨城県更正保護女性連盟様

・更正保護女性会 鈴木みち子様

·增古四郎様

・ワーキングストレス研究所長 佐藤浩様

· 秋元病院 片平春枝様

·潮騒家族会一同様

· 佐藤千春様

·綿引佐登子様

·山田武郎様

·山本英貴様

·笹本雄介様

· 小林久裕様 ・高田武義様

·吉田美由貴様 ・高橋ふく子様

·内堀高良様

・遠藤祐二様

・栗原稔様

· 鈴木浩二郎様

献品を頂いた方

フォーラム生花寄贈

・芝智保子様 ·時間春江様

尾形礼子様 ・堀内誠様

・山梨ダルク様・富士五湖ダルク様

勝間春江様

·潮騒家族会様

その他匿名の皆様からも献品・献金をいただきました。ありがとうございました。

※発送作業簡略化のため、振込取扱票は全員の方に同封させていただいております。 どうぞご理解のほどをお願いします。

今月も多くの方から献金・献品をいただ きました。心から感謝申し上げます。 本当にありがとうございました。おか げさまで潮騒 JTC は、回復のための プログラムを実践することができており ますことをご報告いたします。 今後ともご支援くださいますよう、なに とぞ宜しくお願い申し上げます。

瀬騒通信 どっこい生きてます!

Contents

P2 8周年フォーラムのサプライズで家族について思う

₽3 開設8周年フォーラム

P 7 今月のイベント参加報告 て一ら祭で青パパイヤ初披露 民生委員定例会で潮騒JTCの活動説明 秋季イベントに参加した仲間たちの感想

P 9 近藤恒夫氏インタビュー 28 年やってもダルクを支える側に回る 人材が生まれなかった

P10 受刑者からの手紙

P12 しおさい俳壇

P14 どっこい私も生きてます! ~我が回復記~

■編集·発行:

特定非営利活動法人 潮騒ジョブトレーニングセンター(本部)

〒314-8799 鹿島郵便局 私書箱 34号 〒314-0006 茨城県鹿嶋市宮津台 210-10

TEL:0299-77-9099 FAX:0299-77-9091

潮騒リカバリーホーム(中施設)

〒314-8799 鹿島郵便局 私書箱 56号 〒311-2213 茨城県鹿嶋市中 2773-16

TEL:0299-69-9099 FAX:0299-69-9098

潮騒スリークオーターハウス鉾田 〒311-2113 茨城県鉾田市上幡木 1113-39

E-メール k.s-darc@orange.plala.or.jp

ホームページ http://shiosaidarc.com/

定価 100 円(会費に含む) 1998年10月9日第三郵便物認可(毎月3回8の日発行)2013年11月21日発行 SSKU 増刊通巻、第4663号

発行所

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会